

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

地政学リスクで90ドル突破

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台前半まで値上がりし、2014年9月以来の高値を更新した。ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスクの高まりに対する警戒感が強く、供給不安から期近限月主導の上昇地合いが続いている。実際に何等かの供給障害が発生している訳ではないが、供給障害が発生した場合には対応可能なのか疑問視する向きが多い。北半球の寒波による暖房用エネルギー需要の増加、北米の供給障害報告なども、買い材料視されている。2月2日の石油輸出国機構 (OPEC) プラス会合において、特段の政策調整が講じられなかったことも、買い安心感を強めた。

OPECプラス会合では、2月に続いて3月も日量40万バレルの増産を行うことが合意された。「オミクロン」による需要ショックは限定され、増産対応を止める必要性は認められなかった。一方、原油相場が急伸しているが、供給「障害」ではなく供給「不安」が原因とあって、増産ペース加速の必要性も認められなかった。予想通りの結果だが、特段の政策対応を講じなかったことは買い安心感を強めた。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (1月28日時点) は、原油が前週比105万バレル減、ガソリンが212万バレル増、石油精製品が241万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

100ドルへのカウントダウン、過熱感は極めて強い

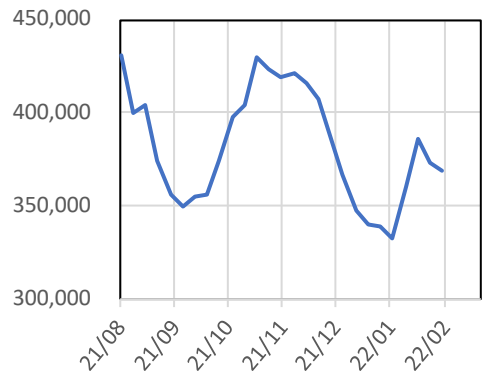
地政学リスクに対する警戒感、寒波による需給引き締め圧力が維持されると、上値追いの展開も維持される。90ドルの節目突破を受けて、100ドルへのカウントダウンが始まっている。過熱感が極めて強くなっているが、地政学リスクと寒波が維持されると、押し目買い優勢の地合が維持される可能性が高い。

冬季オリンピック開催中にロシアがウクライナに侵攻するリスクは限られるが、オリンピック閉幕後に高いレベルのリスクがある。米政府内では、ロシアが攻撃の口実をでっちあげる準備を行っているとの警戒感が広がっており、欧米諸国が対ロ制裁でロシア産エネルギー供給が落ち込んだ場合に備えて、代替供給先を模索する動きを活発化させている。周辺地域では各国が軍備を増強しており、更に緊張感を高めるような動きがみられるかが焦点になる。

また、北半球では厳しい寒波が続く見通しになっている。暖房用エネルギー需要が底固く推移し易いことに加えて、北米のシェールオイルの生産障害なども報告されている。凍結によってリグの稼働、輸送にトラブルが発生しており、短期需給環境の混乱が深刻化した際にも、期近限月主導で買われやすい地合になる。

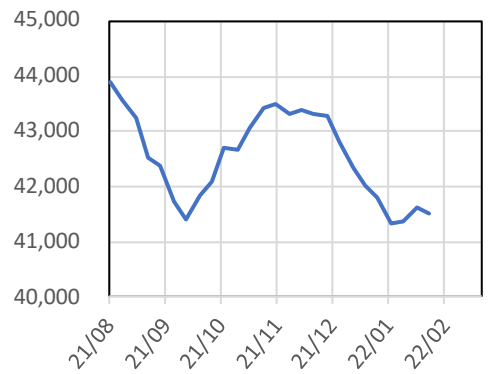
一方、2月10日には石油輸出国機構（OPEC）、11日には国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される予定になっている。地政学リスクが高まっているものの、現実の供給障害は発生していないため、1～3月期や4～6月期の供給過剰見通しが再確認されると、利食い売りを入れるきっかけになる可能性がある。株価、ドル相場の動向に対しても、引き続き注意が求められるよう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



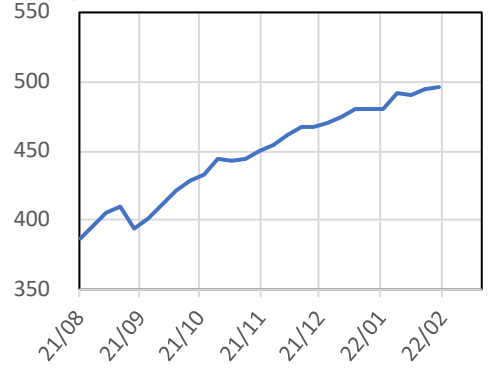
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

